大平洋金属株式会社 2020年3月期 期末決算説明資料

2020年5月19日

当社ホームページ https://www.pacific-metals.co.jp/ お問い合わせ先 総務部(IR担当)TEL:03-3201-6681



1. 経営環境について	
(1) 新型コロナウイルス感染症の影響について	4
(2)LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移	5
(3)世界のステンレス生産とニッケル需給見通し	6
(4) 地域別ステンレス生産とニッケル需給見通し	7
(5)ニッケル銑鉄(NPI)生産の動向	8
(6) インドネシア産ニッケル鉱石の環境変化と当社の調達状況	9
2. 2020年3月期 決算実績	
(1)決算実績	11
(2) 国別販売実績	12
(3)連結経常損益分析	13
3. 中期経営計画「PAMCO-2021」の進捗状況	
(1) 主な重点施策の進捗状況まとめ	15
(2)鉱石調達について	16
(3) ESGへの取り組み状況について	17
(ご参考)中期経営計画「PAMCO-2021」と実績値(予想値)との比較	18



(1) 新型コロナウイルス感染症の影響について

販売面	・海外の一部ステンレス生産者の稼働状況は業界全般の生産 活動へ大きな影響を与えており、加えて、感染症の拡大に より、フェロニッケル需要の鈍化は当面続く見込み
調達面	・ニッケル鉱山において、ニューカレドニアは概ね操業に影響 は見られないものの、フィリピンでは、一部のニッケル鉱山 が一定期間操業を停止した時期も見られている
生産面	・当社従業員の安全を最優先としつつ操業継続
LMEニッケル価格	・当社適用LMEニッケル価格は、前期から引き続き軟調な動き
当社の対応	・「新型コロナウイルス感染拡大防止に関する行動指針」の策定 ・東京本店・海外事務所(フィリピン・インドネシア)の 一時閉鎖、在宅勤務(テレワーク)の推奨 ・海外渡航の原則禁止、国内出張の自粛

【2021年3月期 業績予想について】

新型コロナウイルス感染症は国内外の景気に急激な影響を及ぼしており、当社グループへも大きな影響が見込まれる。数量面では、フェロニッケル需要の鈍化は当面続く見込み。価格面では、当社適用LMEニッケル価格は、軟調な動きが継続。また、持分法による投資利益への影響も。

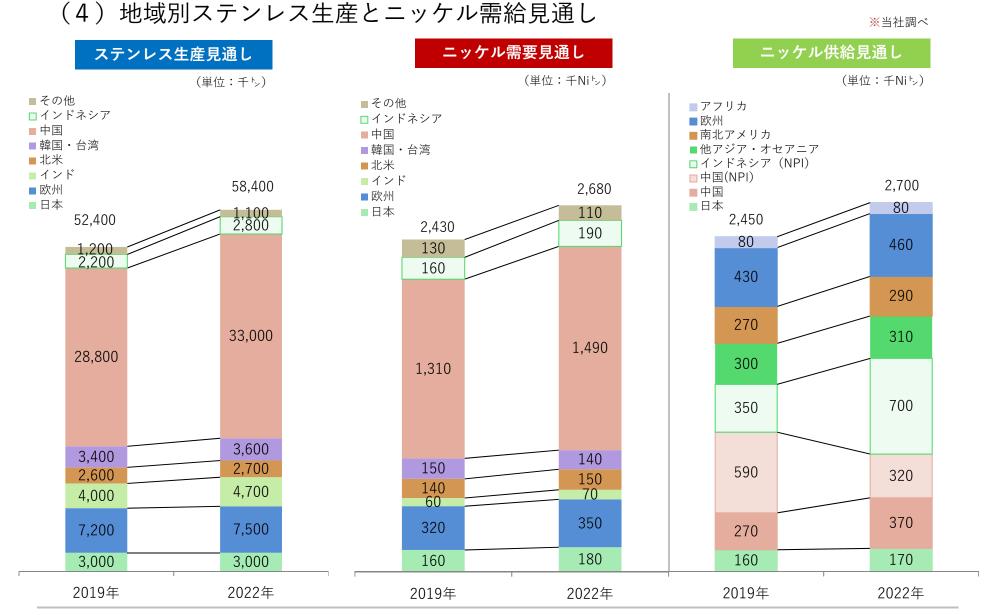
このため、現時点において合理的に算定することが困難であり、業績予想は未定。

(2) LMEニッケル価格・ニッケル在庫数量の推移 ※当社調べ LMEニッケル価格 LMEニッケル在庫 SHFEニッケル在庫 —LMEニッケル価格 LME/SHFEニッケル在庫 (単位:\$/トン) (単位: 千Ni り) 30.000 600 EU圏の財政危機 500 インドネシア鉱石再禁輸 インドネシア鉱石禁輸と ウクライナ情勢不安 前倒しの発表 20.000 400 インドネシア鉱石 300 条件付き禁輸緩和 200 10,000 米中の貿易摩擦の 影響等 100 インドネシア鉱石再禁輸実施、 新型コロナウイルス感染症の大流行 0 0 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2020 2019 業績の推移 2013.3 2015.3 2020.3 2011.3 2012.3 2014.3 2016.3 2017.3 2018.3 2019.3 売上高 56,408 61.225 44.133 74.786 48,330 58,488 47,649 38.697 41.210 49,062 (百万円) 営業利益 18,494 153 2,168 $\triangle 4,079$ $\triangle 7,787$ $\triangle 15,357$ $\triangle 3,070$ $\triangle 3,239$ 176 $\triangle 1.879$ (百万円) 経常利益 20,767 4,920 \triangle 91 972 3,524 $\triangle 1.838$ $\triangle 12,283$ \triangle 515 \triangle 203 3,451 (百万円)

(3)世界のステンレス生産とニッケル需給見通し

※当社調べ

ニッケル需給(単位: 千Niり) ステンレス生産(単位:千%) 3,000 60,000 2,800 55,000 非SUS SUS 向け 向け 35.0% Ni需要先 50,000 2,600 (2020) 65.0% 2,400 45,000 2,200 40,000 2,000 35,000 1,800 30,000 1,600 25,000 1,400 20,000 1,200 15,000 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 **―**ニッケル供給 **――**ニッケル需要 **--**ステンレス生産

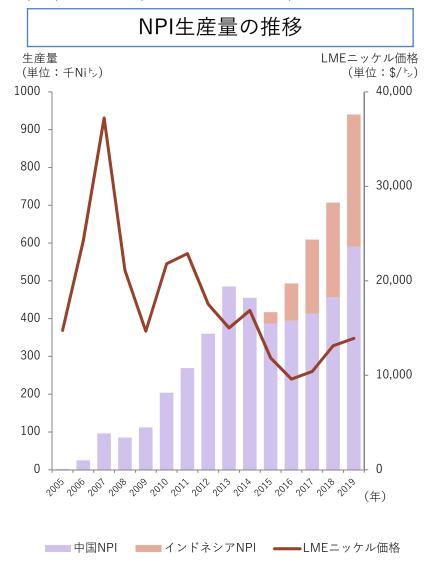


⋒ 大平洋金属株式会社

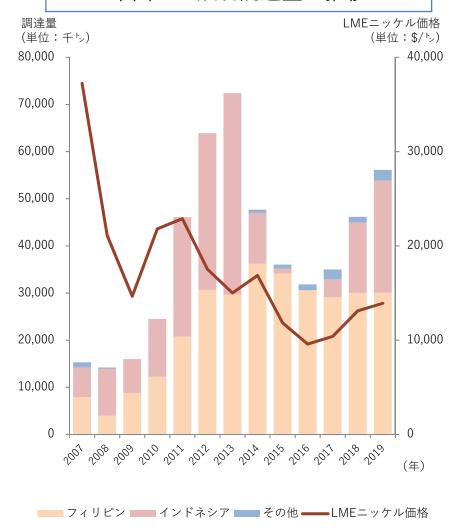
※当社調べ

1. 経営環境について

(5) NPI (ニッケル銑鉄) 生産の動向



中国のNi鉱石調達量の推移



(6) インドネシア産ニッケル鉱石の環境変化と当社の調達状況

環境変化等		当社の調達状況		
	インドネシア鉱石禁輸以前	禁輸以前の調達状況		
~2013年12月	・日本・中国の競合メーカーは、 インドネシアより 約50%程度の鉱石を調達	・禁輸以前より、調達先分散によるバランス重視の調達を継続・2013年度 当社の調達状況インドネシア:42%、フィリピン:42%、ニューカレドニア:16%		
	インドネシア鉱石禁輸措置実施	禁輸措置以降の調達状況		
2014年1月~	・インドネシア国内での 付加価値化を目的とした禁輸	・インドネシアからの調達分をフィリピンへシフト・フィリピン産鉱石価格は急騰・ニューカレドニアからの調達増量		
	インドネシア鉱石禁輸緩和	2018年度 当社の調達状況		
2017年1月~	・5年間限定の条件付き緩和措置 (当初期限2022年1月まで)	・フィリピン:69% ・ニューカレドニア:29% ・インドネシア:2%		
	インドネシア鉱石再禁輸	再禁輸以降		
2020年1月~	・2020年1月より、ニッケル鉱石の輸出を 前倒しして禁止するとエネルギー鉱物 資源大臣発表(2019年8月)	・2014年の禁輸開始当時から対応済み・当面の調達数量には影響無い見込み		



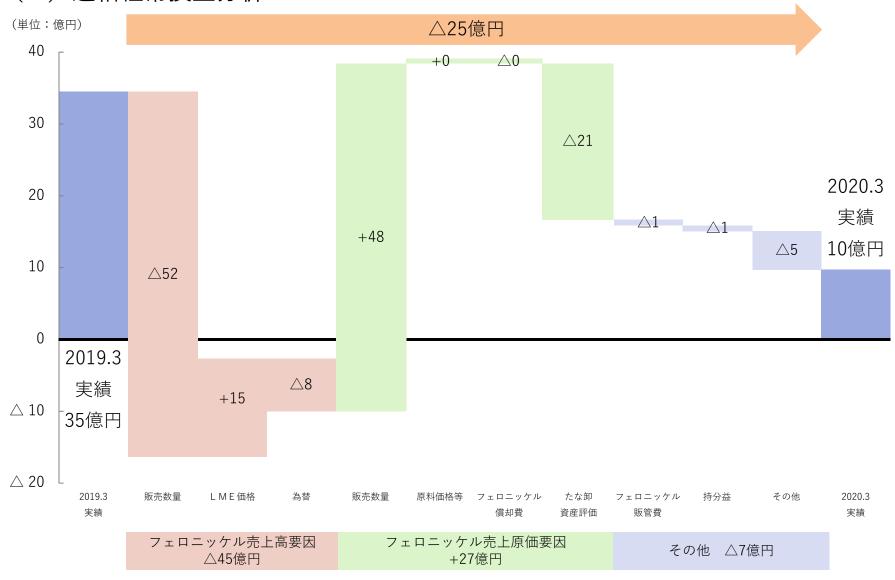
(1) 決算実績

	2019.3 実績		2020.3 予想 (2/7発表)		2020.3 実績		対 前期比	対 2/7発表	トピックス
	金 額 (百万円)	利益率 (%)	金 額 (百万円)	利益率	金 額 (百万円)	利益率 (%)	(%)	予想比 (%)	
売上高	49,062		45,025	_	44,133	_	△10.0	△2.0	
営業利益	176	0.4	1,410	3.1	△1,879	△4.3	_	_	- +1+ 10.44
経常利益	3,451	7.0	4,313	9.6	972	2.2	△71.8	△77.5	<u>■売上高・損益</u> LMEニッケル価格は
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,693	7.5	4,084	9.1	625	1.4	△83.1	△84.7	前期比上昇したものの、 販売数量減等の影響に より減収減益
(投資額)	276	_	_	_	530	_	92.0	_	5 / //////////////////////////////////
(減価償却費)	307	_	_	_	330	_	7.5	_	

	2019.3 実績	2020.3 予想 (2/7発表)	2020.3 実績	対 前期比 (%)	対 2/7発表 予想比 ^(%)	トピックス
生産数量(Ni り)	33,506	31,775	30,885	△7.8	△2.8	■生産数量・販売数量
販売数量(Ni り)	32,000	28,500	28,533	△10.8	0.1	慎重な生産・販売体制 を継続
適用LME(\$/トン)	12,985	14,088	13,867	6.7	△1.7	■LMEニッケル価格
[適用LME(\$/lb)]	[5.89]	[6.39]	[6.29]	0.7	Z31. <i>1</i>	世界的な貿易制限等の 影響があったものの、
適用為替(¥/\$)	110.53	108.62	108.49	△1.8	△0.1	前期比6.7%上昇



(3) 連結経常損益分析





- (1) 主な重点施策の進捗状況まとめ
- ① 最適生産体制構築のための 「設備」の強化と 「鉱石」の安定調達
- ・老朽化設備の計画的更新
- ・新規鉱山開発及び鉱山権益獲得に向けた 取り組み

② 海外事業展開を 視野に入れた取り組み ・海外パートナー候補との協議加速による 事業化検討並びに事業性評価を推進

- ③ 国内事業の多角化 (新規事業への取り組み)
- ・湿式製錬技術を活用した、 Fe-Ni以外の製品製造の検討に着手
- ・リサイクル事業の拡大に向けた多角的視点 での検討を加速

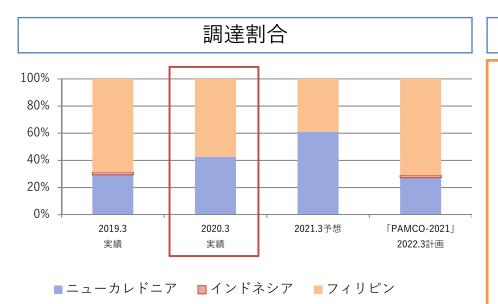
④ 収益力の強化

- ・LMEニッケル価格の変動リスクに対する対応
- ・あらゆるコスト削減を継続的に実施 (約4億円の削減効果)
- ・各種課題を踏まえたプロセスの構築及び ERP導入推進による業務改革への取り組み
- ・リサイクル事業の損益改善に向けた営業活動 拡大及びリサイクル効率化への取り組み

(2)鉱石調達について

長期契約先	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3
■ リオ・チバ・ニッケル社(36%出資)	契約期間:2019.7~2023.12(4年6カ月間)			月間)	
■ タガニート社(33.5%出資)	契約期間:2019.7~2023.12(4年6カ月間)			月間)	
■ カグジャナオ社	契約期間:2019.7~2023.12(4年6カ月間)			月間)	
■ MKM社 (1)	契約期間:2014.1~2023.12(10年間)				
■ MKM社 (2)	契約期間:2016.1~2025.12(10年間)				
■ モンタニア社	契約期間:2016.4~2026.3(10年間)				

■フィリピン ■ニューカレドニア



ニッケル鉱石調達について

- ・新型コロナウイルス感染症対策の影響で、 フィリピンでは一部のニッケル鉱山が 一定期間操業を停止した時期も見られている
- ・一方、継続した鉱石調達方針として、 ニューカレドニア鉱石の調達量拡大を推進。 結果、当社一部調達先の輸出枠拡大に伴い、 調達量増加見込み
- ・従って、当面の当社鉱石調達量には影響 無い見込み

(3) ESGへの取り組み

環 境 Environment

- フェロニッケルスラグの全量リサイクル化による循環型社会への貢献
- 省エネ設備への改良及び高温排ガス再利用による省エネルギー対策の推進
- 排水終末処理による水質汚濁防止対策と排水の再利用

社 会 Social

- 東日本大震災被災地へのフェロニッケルスラグ土木資材の供給
- 地元サッカークラブチームへの協賛、地域活性化活動への参加による地域社会との共生
- 工場周辺や地域の清掃活動の実施

ガバナンス

- Governance
- コーポレート・ガバナンスの充実・強化
- 統合マネジメントシステム (IMS) の活用による法規制遵守

2020年3月期トピックス



地元J3サッカーチーム 『ヴァンラーレ八戸』への協賛

- ・アドトラック(左写真)
- ・練習用ビブスへの名入れ

すべてのステークホルダーの信頼に応えるため、事業活動を通じて社会・地域の課題解決に貢献しながら、 新たな価値を創出し、持続可能な社会の実現を目指す

(ご参考)中期経営計画「PAMCO-2021」と実績値(予想値)との比較

	(単位:金額 百万円)	2020.3 計画	2021.3 計画	2022.3 計画
	生産数量(Ni ʰ〉)	33,000	29,000	32,500
	販売数量(Ni り)	32,000	31,500	32,000
	適用LME(\$/トン)[\$/lb]	13,691[6.21]	14,330[6.50]	14,837[6.73]
「PAMCO-2021」期間	適用為替(¥/\$)	109.72	109.73	109.72
計画値	売上高	50,816	51,872	55,097
(2019年5月10日発表)	営業利益	391	△271	2,650
	経常利益	3,136	2,377	5,340
	親会社株主に帰属する当期純利益	2,872	2,020	4,876
	投資額	1,887	4,688	4,132
	減価償却費	330	408	515
	(単位:金額 百万円)	2020.3 実績	2021.3 予想	
	生産数量(Niト)	30,885		
	販売数量(Ni トン)	28,533		
	適用LME(\$/トン)[\$/lb]	13,867[6.29]		
「PAMCO-2021」期間	適用為替(¥/\$)	108.49		
実績値(予想値)	売上高	44,133	未定	
	営業利益	△1,879	木 足	
	経常利益	972		
	親会社株主に帰属する当期純利益	625		
	投資額	530		
	減価償却費	330		

★平洋金属株式会社



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。 また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際 と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいます様お願いいたします。 本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。 本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。